

あす だけ 支所 だよ

5・6

2024 令和6年
No.209



三州足助屋敷

香嵐溪園地にある「三州足助屋敷」。ここは、明治から昭和30年頃の中山間地域の農家の暮らしが再現された施設で「生きた民族資料館」とも呼ばれています。

現在、この施設では、かつての暮らしの様子を見ることができるだけでなく、昔ながらの手仕事体験や食の学校という料理教室などが実施されており、体験しながら昔の暮らしを知ることができる施設です。

今回は、三州足助屋敷で館長をされている小野塚隆さんに三州足助屋敷についてお話をお伺いしました！

三州足助屋敷HP→



三州足助屋敷



小野塚さん

三州足助屋敷の成り立ちについて

三州足助屋敷は、昭和55年4月27日に足助町によって設立されました。当時は、昭和30年頃の高度経済成長期で暮らしが変わり始めたことにより、手仕事を行う人たちが工場へ労働者として働きに行くことが増え、手仕事が消え入りそうな状況にありました。「手仕事のようなすばらしい技術が途絶えてしまうのはもったいない、残していきたい」という思いから、手仕事を保存していくためにこの施設は設立されました。

また、今の場所に建てられたのは、香嵐溪を年間を通した観光地にしたいという思いがあったからだそうです。

昔の暮らしを再現～職人と手仕事体験～

三州足助屋敷では現在、わらぞうり、機織り、傘屋、藍染め、桶屋、紙すき、炭焼き、鍛冶屋、籠屋、木地屋の10種類の手仕事を見ることができます。実際に職人さんが手仕事を行っている様子を見ることができるので、その様子をお楽しみいただくことはもちろん、職人さんとお話するのも楽しみ方の一つです。

また、見るだけでなく実際に体験することもできます。機織り、藍染め、籠屋、藁細工、竹細工、鍛冶屋の体験をすることができるので、手仕事体験を通して、楽しみながら昔ながらの暮らしを知ることができるのが、この施設の魅力です。



取材動画公開中！

今号から始まる「あすけ通信コーナー」では、動画による地域情報の発信を行っていきます。今回は、職人さんの手仕事の様子と館長の小野塚さんへのインタビューの様子をお届けします！紙面では語り切れなかったお話や職人さんの様子を動画でぜひご覧ください！



昔の暮らしを再現～食～

手仕事だけでなく、食という面でも昔の暮らしを再現しており、施設内では、梅干しや寒茶、味噌を作っています。ここで作った梅干しや寒茶は売店にて販売されており、味噌も五平餅用の味噌として使われ、その五平餅も販売されています。

また、「食の学校」という料理教室を行っているのも三州足助屋敷ならではの魅力です。この料理教室では、甘酒づくりや柚餅子づくり、こんにやくづくりなど、様々な昔ながらの食べ物を作る体験ができます。開催内容は、時期によって様々です。ご自宅では作る機会が少ないものも作ることができるので、昔ながらの食べ物作りをぜひ体験してみてください。



(写真上) こんにやく (写真下) 甘酒

三州足助屋敷おすすめポイント

館長の小野塚さんは、三州足助屋敷の見どころについて、次のようにお話しされました。

「他の資料館との違いは、展示してあるものを実際に使っているというところです。囲炉裏には火が入っており、かまどではご飯を炊いています。また、職人さんも実演をしているので、実際の作業風景もお楽しみいただけます。そういった「生きた民族資料館」というところをお楽しみいただきたいです。」

設立当時の「手仕事を残していきたい」という思いを現在まで継承し、展示や体験を行う「三州足助屋敷」。他の施設では体験できない昔ながらの体験が、この施設ではできます。体験をしたり、職人さんと話したり、施設での楽しみ方は様々です。

今後も、素晴らしい手仕事が継承され、この施設の魅力が多くの方々に伝わっていくとうれしいです。
(足助支所 小野詩織)

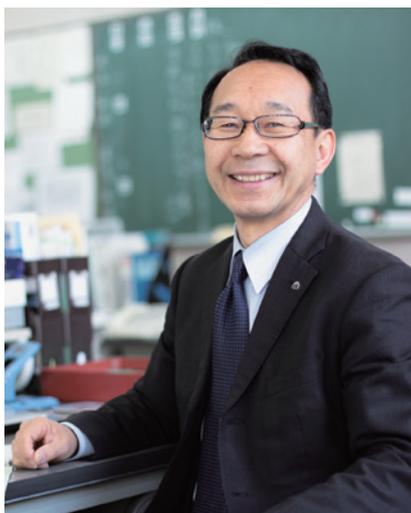
【お詫びと訂正】

令和6年3月に発行しました「あすけ通信45号」のあすっご紹介に誤記がありました。記事内の「武尊さん」のふりがなが「たけはるさん」となっておりましたが、正しくは「たけるさん」です。改めてお詫びと訂正をさせていただきます。大変申し訳ございませんでした。

あすけ 羅針盤

あすけ  羅針盤は、足助地域会議委員が足助の魅力や元気な活動をお届けします。

第10期足助地域会議 会長



宮川 隆広
識見者 (東渡合町)

みなさんこんにちは。第9期に続き、第10期も地域会議委員を務めさせていただく宮川です。「地域会議って何をするの?」とよく聞かれます。実は私もよく分かりません。足助には多くの課題があります。高齢化・少子化・過疎化・人口減少・若者の流出・土砂災害・洪水・交通不便・農地荒廃・農地法や農振の足かせ・空き家・小学校の統廃合・・・私はこれらの課題に対してこの2年間地域会議で不平・不満ばかり言ってきました。しかし不満からは何も生まれませんでした。第10期の地域会議では、新しい委員の皆様と夢と希望を語り合いたいと考えています。「地域会議は足助の普通の人が夢や希望を語る場所」でありたいと思います。幸い、地域会議には我々委員を支えてくれる心強いサポーターがみえます。田舎を守り抜いてくれる市議さん、我々の要望を応援してくれる支所長さん始め支所の方々。これらの方々を力合わせて、一つでも二つでも夢を叶えたいと思いませんか。委員の皆様（委員以外の飛び入り参加も歓迎）、肩の力を抜いて楽しく語り合いましょう。

第10期足助地域会議は会長を含め14名の委員で2年間活動します。
足助地区の皆様、よろしくお願ひします。

■深津 幸子…副会長
区長会推薦 (籠林町)

■深見美時子…委員
区長会推薦 (実栗町)

■三宅 利幸…委員
識見者 (足助町)

■藤原 善美…委員
区長会推薦 (上脇町)

■寄田 雅彦…委員
区長会推薦 (綾渡町)

■鳥居 智子…委員
公募 (足助町)

■宇井 新助…委員
区長会推薦 (実栗町)

■河合 揚一…委員
区長会推薦 (下国谷町)

■本多さおり…委員
公募 (月原町)

■近藤 幸子…委員
区長会推薦 (葛沢町)

■廣瀬 友門…委員
区長会推薦 (足助町)

■増田比呂子…委員
区長会推薦 (足助町)

■河合 修…委員
区長会推薦 (富岡町)



わくわく事業団体紹介



令和6年度のわくわく事業（13団体・うち新規5団体）をご紹介します！
身近な地域活動をぜひ応援してください！

しんもり花の郷（4年目）	
扶桑館の前山整備事業	展望デッキの整備、花木植樹
新盛子育て支援プロジェクト（4年目）	
田舎の親子の子育て支援事業	竹林整備、親子参加のイベント開催
足助の文化伝統を記録する会（1年目）	
未来に残そう足助の文化・伝統遺産	足助地域内の現存する伝統行事や文化遺産の動画編集
農村舞台寶榮座協議会（8年目）	
農村舞台寶榮座を生かした文化による地域づくり事業	歌舞伎・寄席の開催、外壁塗装工事
麺の会（1年目）	
「竹灯り」による足助の活性化と担い手育成	竹灯りの製作、イベント運営
Burupon（3年目）	
Burupon Farm（ブルボン農園）整備事業	農園開設、都市と山村地域の交流
北小田体験塾（2年目）	
北小田町竹林整備プロジェクト	竹林整備、ワークショップによる関係人口増加
そらのうたMIUCHI（1年目）	
校舎を拠点として地域に交流を生み、人々が楽しんで生きるきっかけとなる事業	音楽室の改装、音楽イベントの開催
足助守宮会（1年目）	
手筒花火団体の結成と放揚	足助夏祭りでの手筒花火の放揚
三州足助太鼓（1年目）	
和太鼓で地域づくりと子どもの育成を図る事業	各種イベントへの参加、次世代育成
あすけ聞き書き隊（13年目）	
足助の聞き書き 第10集発刊及び朗読集作成事業	朗読集の作成・発刊
萩野NPO結の家（6年目）	
萩野・持続可能な地域づくり事業	暮らしを再発見する地域づくりプロジェクト
御内森づくり会議（4年目）	
地域資源を活かし、子どもの可能性を広げる事業	フィールド整備、イベント開催による次世代育成



田畑の手入れに困っていませんか

足助地区には農作物を育てる方がたくさんいらっしゃいます。農作業は、重労働かつ日々の管理が大変な仕事です。長年畑仕事を続けていらっしゃる方の中にも筋力低下や担い手不足により畑の維持が難しいと感じる方もいらっしゃるかもしれません。

足助地域包括支援センターは、足助地区にお住いの65歳以上の方を対象とした何でも相談窓口です。認知症や介護保険に関する相談だけでなく、「一人暮らしで草刈りをお願いできる人がいない」、「高いところにある柿を収穫したいけど脚立に乗って作業できる自信がない」などの声も挙がっています。日常生活の困りごとなどお気軽にご相談ください！

これまで大切に守ってこられた畑仕事をお手伝いさせていただく方法について一緒に考えさせていただきます。

お問い合わせ：
足助地域包括支援センター
(足助病院内)
62-0683 (直通)

昨年12月に菊芋の収穫を体験
させていただきました。地域
の方が日々感じる畑仕事の大変
さや楽しさを知るきっかけに
なりました。



社協だより



～そうだ！



(社協足助支所)へいこまい～

みなさまの
身近な相談窓口を
目指します！

今年度は、わたしたちが
足助支所の職員です♪

社会福祉協議会足助支所
電話：62-1857

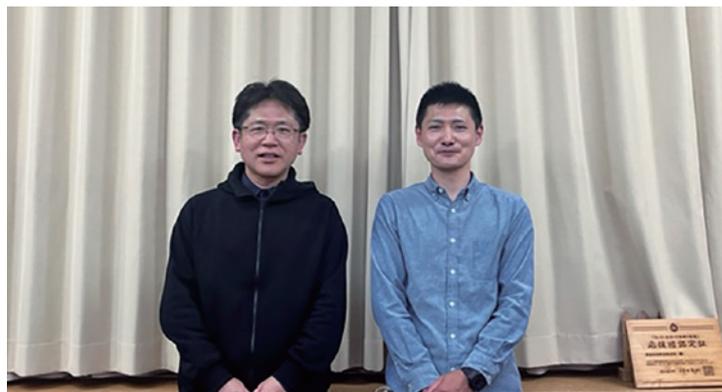
みなさまが地域で安心して暮らして
いけるように頑張ります！
どうぞよろしくお願い致します♪



あすけ通信編集委員紹介

令和6年3月発行の「あすけ通信第45号」を最後に、あすけ通信の発行が終了となりました。あすけ通信の発行終了に伴い、今号のあすけ支所だよりから、あすけ通信編集委員のお二人と一緒にあすけ通信コーナー（旧特集コーナー）を作成していただきます。

また、今後は支所だより裏表紙にて、足助のおすすめスポットも紹介していきます。足助をよく知るお二人のお力添えをいただき、新しくなった支所だよりをお楽しみください！！また、あすけ通信編集委員のメンバー大募集中です。ご興味のある方は、豊田市役所足助支所（☎0565-62-0601）にお問合せください！



（左）高木伸泰さん （右）鈴木悠太さん

【あすけ通信編集委員のお二人からのコメント】

12年間取り組んできた『あすけ通信』では多くの方に取材し、様々な発見がありました。今年度からは『あすけ支所だより』の作成に協力させていただきます。動画作成にもチャレンジしますので、是非見てください。

代表 高木 伸泰

はじめまして。野林の鈴木悠太と申します。普段は北小田町で福祉施設を運営しております。趣味はお城巡りです。

多くの人に足助の魅力を知っていただけるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。おもしろい場所がありましたらぜひ教えてください。

鈴木 悠太

令和6年度 足助支所 職員紹介

令和6年度、足助支所職員をご紹介します。令和5年度末で6人の職員が他部署へと異動となり、新たに7人が足助支所職員となりました。今年度もよろしくお願いいたします！今年度配属された職員を代表して、新規採用職員のお2人にコメントをいただきました！

山村地域在住職員として採用されました吉井展視です。足助に住んで約6年。外から引越して来た経験を生かして、沢山のひとに足助の魅力を伝える為頑張ります！

吉井 展視

魅力あふれるこの地で観光に関わる業務を担当できることを光栄に思います。地元出身者として地域の方々に恩返しができるよう一生懸命取り組んでいきます。

内藤 里奈



地域振興担当



市民生活担当

もしも足助に、
もしも「湯」があったらどんな感じ？

皆さんこんにちは！ Periです！
今月号からは
もしも足助が〇〇だったら...
という「もしもシリーズ」を
お届けします！

露天風呂からは
夜景と朝日も
楽しめる！

紅葉の木の上
にある露天風呂は
人気なので
予約制です☆

エレベーターを上げる
力持ちの名物おばあちゃん

中心は
みんなが休める
憩いの場。
他2種類の
露天風呂も！

お腹が空いたら
お店で腹ごしらえ

流れる露天風呂で
リラックス

＼ブラアイチin足助を開催します！／

町歩きを楽しみながら、その町の地形や観光地について知る愛知県主催のイベント「ブラアイチ」が足助で開催されます！今回は足助での開催ということで、足助の町並みや足助川、巴川の見どころスポットでそのスポットに関する解説を聞きながら、ご自身のペースで町歩きを楽しんでいただけます。足助の魅力を再発見していただけるイベントとなりますので、ぜひご参加ください！

- と き 令和6年5月26日（日）
10時30分～15時
（受付：10時30分～12時30分）
- 集合場所 豊田市役所足助支所
- コース 足助の町並み及びその周辺約4km
- 申込方法 令和6年4月23日（火）9時から
5月23日（木）17時15分までに
添付の二次元コードからお申込み
ください！



← 申込み用二次元コード



いつもお読みいただきありがとうございます。今後もよりよい支所だよりをお届けするため、ご意見・ご感想・ご要望などいただければ幸いです。以下の連絡先へお気軽にご連絡ください。



人口と世帯数（令和6年4月1日現在）
人口 6,810人 世帯数 2,744世帯
令和5年度合計 出生20人 死亡132人

発行：豊田市役所足助支所 〒444-2424 豊田市足助町宮ノ後26-2
電話：市民生活担当 ☎62-0600 地域振興担当 ☎62-0601
FAX 62-0606 ✉asuke-shisho@city.toyota.aichi.jp

